

少量危険物貯蔵取扱届出要領

1 少量危険物貯蔵取扱届出書記載例（屋外貯蔵タンク）

2 添付図書

（１）付近見取図

（２）配置図

配管ルート、消費設備の位置等記載可能な場合は、（３）の配管図と兼ねることができます。

（３）配管図

（４）貯蔵タンクの製作図又は、タンク三面図

指定数量の２分の１以上のタンクの場合には、防油堤の図面も必要です。

（５）設備の承認図

- ① ポンプ設備（オイルリフター等）
- ② 消費設備（燃焼機器等）
- ③ その他

3 その他

上記図書を届出書に添付し編さんし、正・副２部の届出が必要となります。

貯蔵取扱に変更が生じた場合には変更の届出が、使用しなくなった場合には廃止の届出がそれぞれ必要となります。（いずれも正・副２部必要）

また、同型の貯蔵タンクを複数設置する場合で１つの図面でそれぞれのタンク・配管経路及び消費設備が確認できるものについては、図面を兼ねることができます。、この場合、届出書はタンクごとに必要です。（届出がどのタンクのものか番号・記号等で区別してください。）

少量危険物貯蔵取扱（変更）届出書

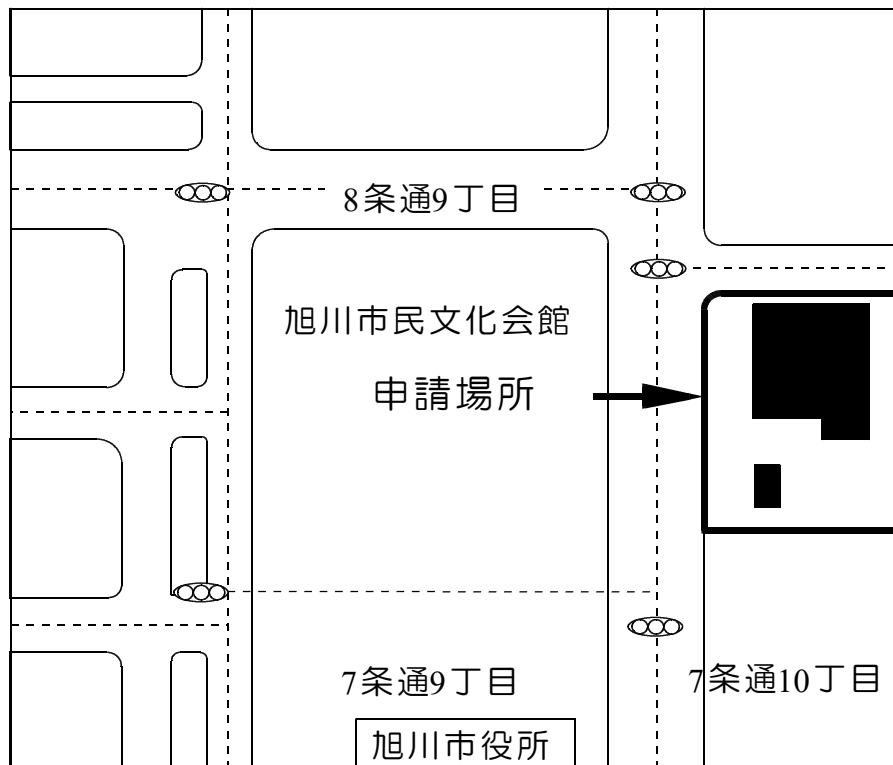
○ 年 ○ 月 ○ 日			
旭 川 市 消 防 長 (宛先) 旭川市 消防署長			
届出者			
住 所 旭川市 7 条通 1 0 丁目 氏 名 消 防 太 郎 電話 (0166) 25-1125			
貯蔵又は取扱い の 場 所	所 在 地	旭川市 7 条通 1 0 丁目	
	名 称	旭 川 市 消 防 本 部	
類, 品名及び最大数量		第 4 類 第 2 石油類 (灯 油)	
		9 5 0 ℓ kg	指定数量の倍数
位置, 構造及び設備の概要		タンクは屋外に設置し、防油堤と 1 m の空地を設ける。	
貯蔵又は取扱方法の概要		タンクに灯油を貯蔵し、1 階の F F ストープと給湯機に落差で供給する。2・3 階の F F ストープと給湯機には、オイルリフターを使用し供給する。	
消防用設備等（認定特殊消防用設備等）の概要		第 5 種 A B C 粉末消火器 1 本	
貯蔵又は取扱い開始期日 又は期間		○ 年 ○ 月 ○ 日	
備 考		詳細については別紙	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

- 備考 1 届出者の住所及び氏名は、当該物品を貯蔵し、又は取り扱おうとする者の住所及び氏名とすること。この場合、法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入する。
- 2 貯蔵又は取扱所の所在地の付近見取図を添付すること。
- 3 貯蔵又は取扱所の位置、構造及び設備の図面を添付すること。
- 4 ※印の欄は記入しないこと。

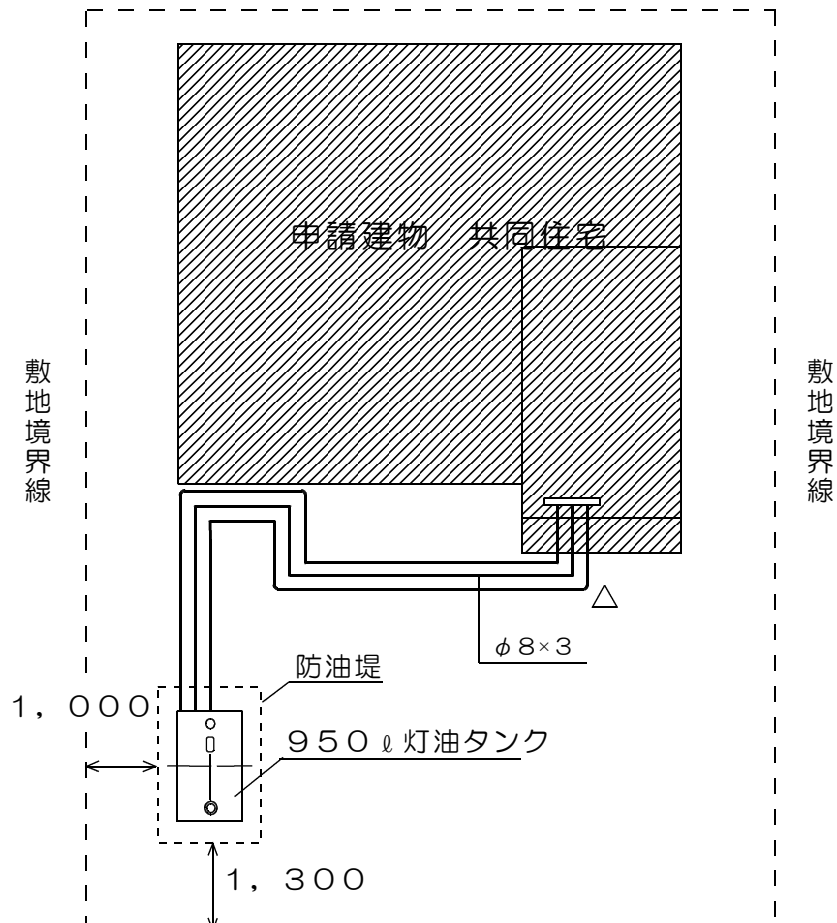
貯蔵所等区分	屋外タンク貯蔵所
--------	----------

保有空地		1 m	屋外の構造	周囲のかこい		
占有面積		m ²		地盤面の状況		
建築物の構造	壁			流出防止装置		
	床		防火上有効な堀			
	柱・はり		ポンプ設備	種類・形式	OC801型	
	屋根・天井			全揚程	6.0 m	
	窓・出入口	階段		消費設備	種類・形式	承認図のとおり
					燃料消費量	4.2 × 3 + 0.78 × 3 ℓ/h
換気設備			電気設備			
タンクの構造	形状	横置円筒型	車名及び型式			
	寸法	916 φ × 1474 mm	タンク検査		水張・水圧	
	材質	亜鉛処理銅板	タンク検査番号		○年○月○日第○○○号	
	板厚	胴. 鏡共右 2. 3 mm	安全装置	作動圧力	kPa	
	通気管	SGP20 A引火防止網付		番号		
	覚知装置	浮子式レベルゲージ	防護枠	材質記号		
	容量	950 ℓ		板厚	mm	
架台固定方法		足をつか石にアンカーで固定	吐出口の位置		左・右・後	
地下タンク室構造			ホースの長さ		m	
支柱方式	タンクの防食		接地導線		長さ m	
	ふた・基礎		車両番号			
防油堤	構造	鉄筋コンクリート	消火器		第5種ABC粉末消火器×1	
	容量	1, 064 ℓ	標識掲示板の材質		鉄板製	
配管の材質 口径, 防食 及び試験方法		送油管 被覆銅管 8 φ 漏洩試験の圧力 0. 4 kPa				

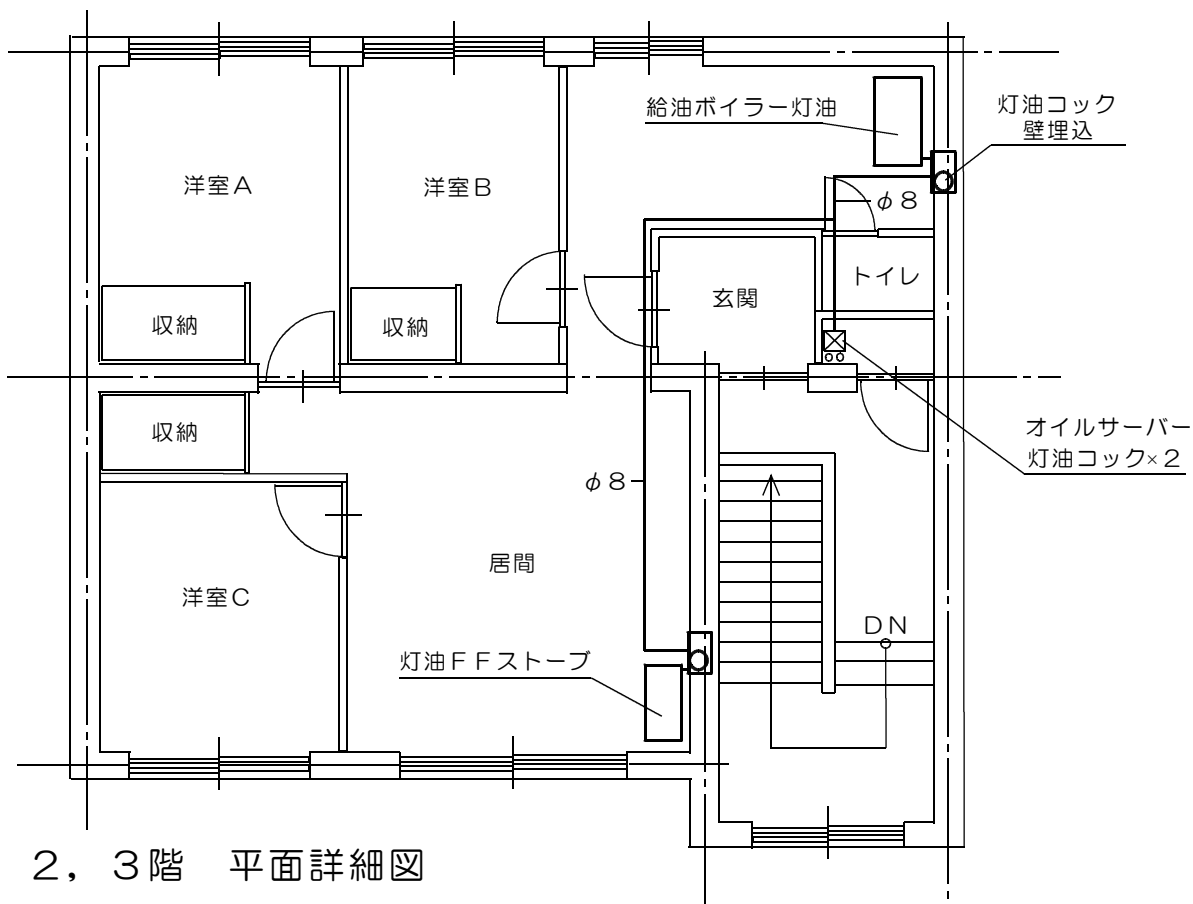
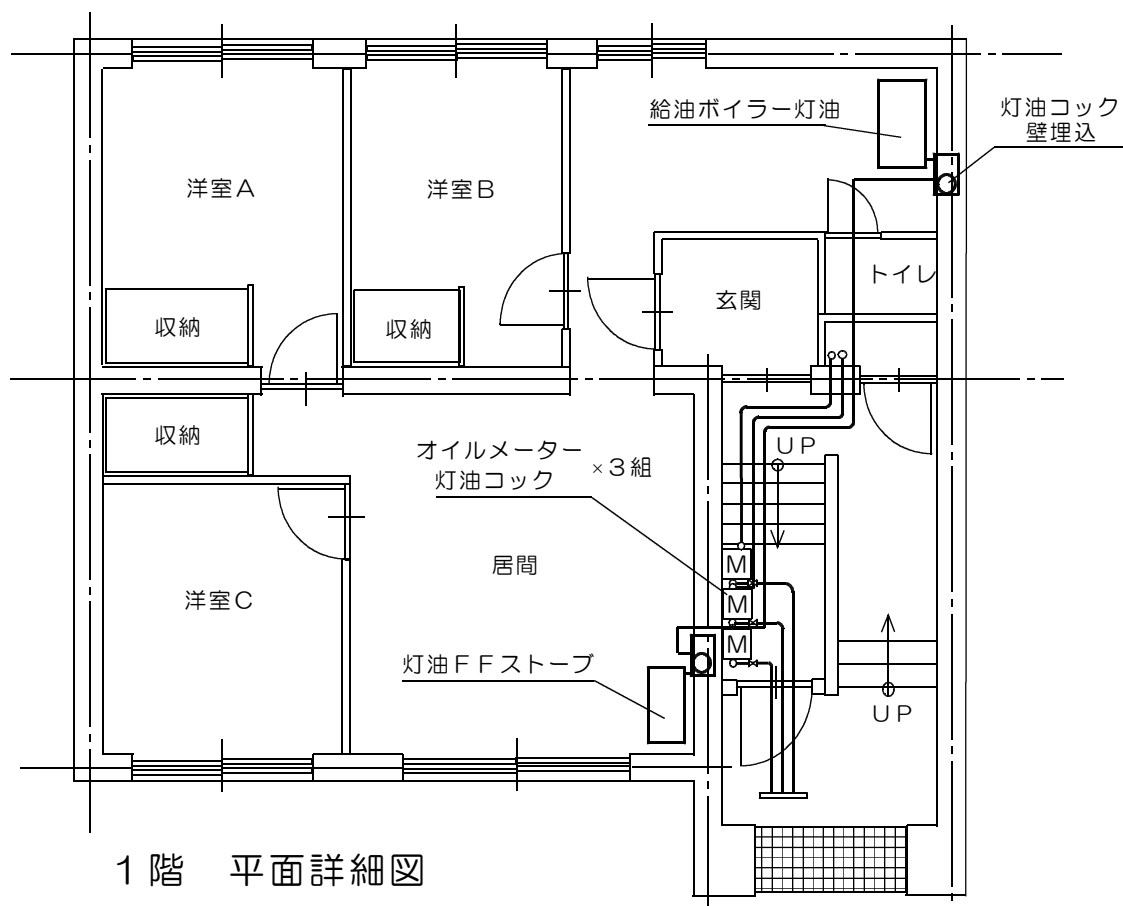
見取図



配置図



配管図



貯蔵タンク図面

